

警察署協議会議事録

協議会名	令和8年第1回宮城県大和警察署協議会
開催日時	令和8年2月27日（金） 午後4時20分から 午後5時10分まで
開催場所	遠藤旅館
出席者等	<p>1 協議会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出席委員～ 会長 後藤 良春 副会長 浅野 よし江 委員 飯塚 久子 委員 森岡 美貴 委員 斎藤 雅彦 委員 木村 忠宏 委員 大童 雄介 ・ 欠席委員～ 委員 高平 英子 <p>2 警察署側 副署長 会計課長 警務課長兼留置管理課長 生活安全課長 地域課長 刑事課長 交通課長 警備課長</p>
議事概要	別紙のとおり
備考	

別 紙

1 協議事項

(1) 令和7年中の治安情勢について

刑事課長、生活安全課長から令和7年中の管内の治安情勢について説明がなされた。

副会長： 昨今国内における外国人居住者の増加が話題となっており、近隣でもよく見かけるようになったが、検挙者のうち外国人の占める割合は増えているのか。

刑事課長： 昨年中、外国人の検挙は数件あったものの特段目立っているわけではない。

検挙された者もいる反面、犯罪の被害に遭われた方もいる。

警備課長： 企業の進出を背景として、管内にも技能実習生として来日している外国人が増加しているため、接する機会が増えているものと思われる。

委員： 侵入窃盗について、施錠していても被害に遭っているのか。

刑事課長： 昨年中は無施錠の勝手口から侵入されるケースが多く見られた。

また、南京錠のみで施錠しているような倉庫は錠を破壊されて侵入される場合もある。

センサーライトを導入するなど防犯対策を行ってほしい。

委員： 承知した。

住民の防犯意識を高めるよう、こちらも働きかけていきたいと思う。

(2) 令和7年中の交通事故発生状況及び大和警察署速度取締り指針について

交通課長から令和7年中の交通事故発生状況及び大和警察署速度取締り指針について説明がなされた。

委員： 交通事故の要因として不注意によるものが多いと伺ったが、車両性能が向上しても交通事故は減らないものか。

交通課長： 運転サポート機能を備えた車両が増加してはいるものの、車線はみ出し等人身事故に繋がる事故は依然発生している。

黒川地区は企業の進出により交通量が増加しているほか、道路の新設が続き、不慣れな環境での運転となる方も増えているものと考ええる。

引き続き、交通事故の抑止に向けた交通指導取締りを推進する。

委員： 承知した。

2 意見・要望

委員： I Tツールの活用例を教えてください。

また、本協議会についても署員の方の負担軽減のため、W e b ツール等を活用して日程調整を図ってはどうか。

警務課長： 警察においては、イントラネットの活用や各種業務のシステム化による情報共有、業務の合理化・効率化を進めている。

例えば、110番通報においては映像通報システムやアプリによる通報を導入したことで、速やかな現場の状況の把握が可能となったほか、さまざまな事情をお持ちの方への配慮がなされている。

また、警察行政手続のオンライン化も進んでおり、利便性の向上に繋がっている。

一方で、セキュリティ面への課題もあり、公用端末へのアプリ・ソフトのインストール、W e b ツールの利用には制限が設けられているものの、インターネットメールの使用等は一定の条件下で可能となっていることから、メールによる連絡、出欠確認等は可能である。

委員： 様々な制約がありながらもあらゆる場面で I Tツールを活用していることが理解できた。

今後もセキュリティ面に留意しながら適切に活用していただきたい。

3 事務連絡

警務課長から、次回の警察署協議会は令和8年4月以降に日程を調整のうえ開催する旨説明があった。